

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズテラス わくわく		
○保護者評価実施期間	R7年 2月 10日 ～ R7年 4月 15日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 28
○従業者評価実施期間	R7年 3月 1日 ～ R7年 4月 15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 4月 22日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されている。	ミーティングを通して、前回の様子や継続して活動した方が良いこと、やり方を変えた方が良いことの話し合いをしています。また、当日の様子も報告し合っており、次回に向けてより良い方法を考え続けています。	ケース会議やアセスメントの研修を実施していき、職員のスキルアップをより図っていきます。
2	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	個別支援計画更新時の面談では、学校・園でのご様子、ご家庭でのご様子を聞き取り、お子さまの今後必要な力を伸ばすために、今どこに目標を据えて取り組んで行くかを話し合いをさせていただいております。	引き続きより良い支援ができるように努めていきます。
3	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	契約時、個別支援計画についての面談時など、時間はかかりますが丁寧に説明することを心がけています。	今後も丁寧な説明に努めます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	支援計画更新時の面談以外で面談をできる機会の周知ができていないことがあり、面談の機会が少なくなっている。	SNS等で気軽にお声かけいただけるように発信していきます。
2	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	送迎時のフィードバックでは時間が限られており、聞き取るまでの時間などが限られてしまい、専門性が不足しているとの意見も見られる。	保護者対応や専門性向上の研修を実施していき、職員のスキルアップを図っていきます。
3	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	長年継続して通われているお子さまの成長もあり、スペースが狭くなってきたと感じられているのではと思います。	多機能型ではあるが児童発達支援のお子様は曜日や時間を分けるなど今後も工夫しながらスペースの有効活用を心がけていきます。各部屋やスペースの使い方を工夫しながら、安全に配慮した効率的な活動が実施できるよう努めてまいります。また、今後学年等によってサービス提供時間の変更も必要に応じて検討していきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 キッズテラス わくわく

公表日 令和7年4月28日

利用児童数 30

回収数 28

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	4		6	適切に判断できない。 活動の内容を参観していないのでわからない。	各部屋やスペースの使い方を工夫しながら、 安全に配慮した効率的な活動が実施できるよ う努めてまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	19	3		6	職員の入れ替わりがよくあると感じる。 送迎時は人数が適切かはわからないので確認 したい。	法令上の配置基準は満たしているため、今後 も職員のスキルアップに努めてまいります。 送迎に関しては放課後等デイサービスの場合 は職員は基本一人送迎となります。特別に配 慮が必要な場合は契約時にお伺いさせていた だき対応可能かお伝えするようにしていま す。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	27	1				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24			4	工夫してくださっています。ストレスは感じ ていないようです。	引き続き清潔で心地よく過ごせる環境を目指 します。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	25	3				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	25	1		2		
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されて いると思いますか。	27	1				
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いま すか。	27	1				
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	27	1				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	28				長期休暇など楽しいイベントを考えて頂きあ りがたく思っています。	短時間、長時間の療育のいずれもプログラム は固定化しないように職員がミーティングを 重ね日々準備をしています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会 がありますか。	4	2	7	15		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	28					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされま したか。	28					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。	9	5		14		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況に ついて共通理解ができていますか。	27	1				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	27	1			必要な時に通話を聞いてくださっており、 助言頂いています。	定期でも行っておりまして、それ以外でも相 談事があれば日時を調整して面談を行って います。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	28					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	2	16	8	保護者会のイベントがあれば嬉しい。 働いているので必要ありません。	事業所としては限られたスペースでどのよう に行うのか、時間帯はどうするのかを検討し ていかなくはないけません。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されている とともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周 知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されています か。	21			7		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	25	2		1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	22	1		5	ブログで細かく情報提供をしている。活動内容が把握できる。 毎月のブログで内容がよくわかります。	職員が定期的に必ず行うようになっています。運営上義務化されているものはHPに公表しておりますのでご覧いただけると幸いです。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24			4		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	26	1		1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	22			6		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	25	2		1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	3		4		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	28					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	27			1	楽しみに通っていて職員の方には感謝しています。	ありがとうございます。このようなご意見を改めにお言葉いただけるのは職員一同大変嬉しく思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	26			2	通所してからたくさんの成長を見ることができ、安心して通わせられています。いつもありがとうございます。	ありがとうございます。このようなご意見を改めにお言葉いただけるのは職員一同大変嬉しく思います。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			令和7年4月28日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	1	事前に打ち合わせを行い、最も効率的かつ効果的な活動を検討しております。	多機能型ではあるが児童発達支援のお子様は曜日や時間を分けるなど今後も工夫しながらスペースの有効活用を心がけていきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	11			法令上の配置基準は満たしているため、今後も職員のスキルアップに努めてまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11			引き続き子どもたちが分かりやすくかつ過ごしやすい構造化された環境を目指し、適切な配慮を行ってまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11			引き続き環境整備に努めてまいります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11			引き続き環境整備に努めてまいります。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	11			引き続きより良い支援ができるように努めてまいります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11			職員全体で保護者様ニーズを把握し、引き続き改善に努めてまいります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11			引き続きより良い支援ができるように努めてまいります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		9	第三者評価は行っておりません。	必要に応じて実施を検討いたします。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11			引き続き社内研修や社外研修に積極的に参加し、学びの機会を確保してまいります。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11			引き続きより良い支援ができるように努めてまいります。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	11			引き続きより良い支援ができるように努めてまいります。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11			引き続きより良い支援ができるように努めてまいります。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11			引き続きより良い支援ができるように努めてまいります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11			引き続きより良い支援ができるように努めてまいります。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11			引き続きより良い支援ができるように努めてまいります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11			引き続き職員間で意見交換をしながら、プログラム立案が行えるようにしていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11			固定化が必要な内容については意図的に行い、お子さまが楽しく活動できるよう工夫してまいります。

19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	11			今後も計画に沿った支援ができるよう取り組んでまいります。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	1	朝のミーティングを行い、振り返りや注意事項などを共有しています。	今後も綿密な打ち合わせを実施し、支援に活かしてまいります。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11			今後も綿密な打ち合わせを実施し、支援に活かしてまいります。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11			今後も記録を取り、職員間で確認してまいります。
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	1	支援計画の更新時や、その他必要に応じて適宜モニタリングを実施しております。	事前に計画を立ててモニタリングを実施していきます。
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	11			引き続きより良い支援ができるように努めてまいります。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	11			引き続きより良い支援ができるように努めてまいります。
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11			内容については事業所内で共有を行っていきます。
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	1	必要に応じ、相談支援事業所や他事業所、通園通学先と連携を取っております。	内容については事業所内で共有を行っていきます。 未回答1 未回答があったので職員への周知、共通理解を目指していきます。
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	11			内容については事業所内で共有を行っていきます。
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	11			より積極的な連携を図ります。
30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	8	機会がありませんが必要に応じて行います。	現在までに中学校を卒業した利用生徒はおらず障がい福祉サービス事業所との連携は行えておりません。
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	6	機会がありませんが必要に応じて行います。	内容については事業所内で共有を行っていきます。
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	9	ニーズが少ないため、事業所内での実施機会がありません。	今後必要に応じて、実施を検討いたします。
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	11			内容については事業所内で共有を行っていきます。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10			引き続き密にコミュニケーションが取れるように努めてまいります。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	5	家庭内の状況の聞き取りや、相談へのアドバイス等、個別に対応しております。	プログラムとしてのペアレントトレーニングは実施していないため、今後必要に応じて検討いたします。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11			今後も丁寧な説明に努めます。
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11			今後も要望や意向の確認をしながら作成してまいります。
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11			今後も丁寧な説明に努めます。
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11			引き続き保護者との信頼関係が構築できるように努めてまいります。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		10	ニーズが少ないため、事業所内での実施機会がありません。	今後必要に応じて、実施を検討いたします。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11			相談や申し入れがあった場合は迅速かつ適切な対応に努めます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11			今後も情報発信の充実と周知に努めてまいります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11			今後も個人情報が記載された書類の取り扱いに十分に留意いたします。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11			引き続きより良い支援ができるように努めてまいります。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	7	イベント等で地域のお店を利用するなど地域交流を図っています。ブログで活動の紹介をするなど、地域や一般の型に向けても情報発信をしています。	地域に開かれた事業所運営ができるよう努めてまいります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11			引き続き訓練等の実施と内容の周知を行ってまいります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11			引き続き訓練等の実施と内容の周知を行ってまいります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11			てんかん等の対応について職員間で周知できるようにしていきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11			ご契約時に併せてアレルギーの有無を確認いたします。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11			引き続き安全に留意し支援を行ってまいります。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11			引き続き内容の周知を図っていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11			引き続き安全に留意し支援を行ってまいります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11			引き続き関係機関との連携を図りつつ、定期的に研修を実施してまいります。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	11			今後必要な場合には十分に検討し、丁寧な説明を行うとともに身体拘束の適正化に努めます。